

1. 基礎情報

		担当課名	こどもサポートセンター
事務事業名	(仮称)子育て支援総合センターの設置、子育て支援拠点事業の拡充及びこどもサポートセンターの有効利用		
事業区分	新規事業	施策体系	2 子育てしやすく、だれもが成長できるまち
会計区分	一般会計	(1)	子育て支援の充実
補助金等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/> 国 <input checked="" type="checkbox"/> 県 <input type="checkbox"/> その他) <input type="checkbox"/> 無	(3)	子育て支援
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 県 <input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> その他 ()		
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 名称	児童福祉法第21条の8、9	
事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度(平成26年度) <input type="checkbox"/> 単年度繰返(平成 年度～継続) <input type="checkbox"/> 複数年(平成 年度～平成 年度)		

2. 事業の概要

現状・課題	児童虐待の相談対応状況や、現在の子育て世代を取り巻く環境から、孤独で不安な環境で子育てをしている母親が増加している。こどもサポートセンターで実施しているひろば事業では乳児と母親と一緒に参加できる事業への参加者が大幅に増加し、参加者アンケートでも育児情報の提供や母親同士の交流の機会を求める回答が増えるなど、子育て支援事業への市民ニーズは高い。虐待の予防的な取組の観点からも、出産前後から母親への育児方法等の情報の提供や母親同士が交流・情報交換できる触れ合いの場及び子育ての悩みを気軽に相談できる場の提供、母と子どもと一緒に遊べる機会を増やす施策など、子育て支援サービスを更に充実させる必要がある。			
目的・意図 (期待できる効果)	[当該事業を実施することによって何をめざすか] 現在の子育て支援事業は、コミュニティセンターで子育て支援拠点事業「みっきランド」、こどもサポートセンターで子育て支援事業及びファミリー・サポート事業をそれぞれ実施している。この2施設で実施している事業をコミュニティセンターに統合し、子育て支援の拠点となる「(仮称)子育て支援総合センター」を設置する。子育て支援拠点を整備しサービスを一体的に提供することで、各事業間の相乗効果が期待できるとともに、担当職員の業務が効率化するなど子育て支援体制が充実することから、利用しやすい「みっきランド」とするための施策の展開、母親や子どもの参加機会を増やす新たな事業の実施など、現在実施している子育て支援事業に加えて、更なる新しい子育て支援施策を展開できる。			
事業の概要 (全体計画)	事業の対象	子育てを行っている保護者 (対象数:)		
	総事業費(平成26年度～平成 年度)	千円		
各年度の概要	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
		・セイセイビル区分所有床購入 ・みっきランドの拡充と整備 ・(仮称)子育て支援総合センターの整備 ・こどもサポートセンターの相談室の増設		
事業費A(千円)		53,870		
国・県支出金				
起債		42,800		
その他の特財				
一般財源		11,070		
職員従事者数(人・年)B		2.8	2.8	2.8
人件費C=B×6500千円		18,200	18,200	18,200
概算コスト A+C		72,070	18,200	18,200

3. 必要性・有効性・効率性

必要性	市民ニーズ	A. 明確で高いニーズがある B. ニーズがある C. ニーズはない <small>(アンケート調査など、具体的にどのくらいどの程度の市民ニーズがあるのか記入して下さい)</small> 子育て支援を必要とする家庭は年々増加しており、各事業の参加者アンケートでも母親の交流の場や様々な親子の参加機会を望む声が多い。総合計画の子育て支援充実に取り組むためには、子育て支援拠点の設置は必要である。
	事業効果	A. 大きな効果が期待できる B. ある程度の効果が期待できる C. さほど効果は大きくない <small>[理由](効果(成果)の大きさを判断した根拠などを記入して下さい)</small> 子育て支援拠点が設けられることで、新たに親子が参加できる事業やみっきランドの開室時間の弾力的な運用など利用者の利便性向上の施策などが実施でき、提供サービスの充実が期待できる。
有効性	事業費	A. 標準よりも安価である・事業費は大きくない B. 標準的である C. 標準よりも高めである <small>[理由](事業費、職員従事者数などを踏まえた上で、判断した根拠などを記入して下さい)</small> 子育て支援事業を実施するための人員体制の充実と施設の改修、みっきランドを利用者の利便性や安全性を考慮した施設として拡充・改修するための費用。
	効率性	B

4. その他特記事項

--